

切れ目のない 妊娠・出産・育児支援のためのセミナー

周産期メンタルヘルス・発達障害・児童虐待防止の理解

本セミナーでは、子育て家族への支援の際に押さえておきたい「周産期メンタルヘルス」「発達障害」「児童虐待防止」の3つのテーマについて、具体的にどのような対応が必要かを学びます。いずれのテーマも、第一線で活躍中の講師をお招きし、豊富な臨床経験と調査・研究より導かれた、すぐに実践に活かせる知識が身につけられます。

● 対象者

保健師、助産師、医師、看護師、養護教諭、児童福祉司、保育士、社会福祉士、行政担当者など、切れ目のない支援に携わるすべての方

● 東京開催

お申込はこちら

日時：2025年 **10月18日**(土)

会場：日本教育会館
(東京都千代田区)



● 大阪開催

お申込はこちら

日時：2025年 **11月1日**(土)

会場：CIVI研修センター新大阪東
(大阪府大阪市)



● 受講料 11,000円(税込) ● 定員 各回100名(先着順)

● プログラム・講師・各講義のポイント

※敬称略。講師・プログラムは変更となる場合がございます。

10:00 ～ 12:00	講義① 周産期メンタルヘルス～一体となって産後うつを防ぐ～
	講師：鈴木 利人 (日本周産期メンタルヘルス学会 前理事長／順天堂越谷病院 院長／精神科医)
	産後うつ病の本質的特徴や、自殺念慮を抱えた妊産婦への対応などについて、EPDSとあわせて重視したいことや、自殺を防ぐために効果的な対応方法など、具体的な支援のポイントを学びます。
13:00 ～ 15:00	講義② 発達障害～こどもと家族に寄り添える～
	講師：小橋 孝介 (鴨川市立国保病院 院長／小児科医／公認心理師)
	基礎知識だけでなく、発達障害を抱えているのが子の場合と親の場合、それぞれについて、傾向別に潜むリスク、科学的な知見に基づいた支援方法などを学びます。
15:15 ～ 17:15	講義③ 児童虐待とその防止のための連携
	講師：藤原 武男 (東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 公衆衛生学分野 教授)
	児童虐待を疑うサインの見分け方、疑わしいケースに遭遇した際の判断基準など、実践的なスキルのほか、多職種・多機関連携による児童虐待防止のポイントをお伝えします。

● 後援 (申請中含む)

(公社)日本産婦人科医会／(公社)日本助産師会／
(公社)日本看護協会／(一社)日本子ども虐待防止学会
／日本周産期メンタルヘルス学会

● 関連資格

- 日本助産評価機構「アドバンス助産師」更新・再認証申請のための選択研修該当セミナー
- 思春期保健相談士認定カード更新対象セミナー (1ポイント)